

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-273
研究課題名 深頸部膿瘍治療過程において発症する嚥下障害の研究
研究期間 西暦 2014 年 8 月（倫理委員会承認後）～2015 年 12 月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（入院・外来カルテに記載されたデータ）
上記材料の採取期間 西暦 1995 年 1 月～2014 年 12 月
意義、目的 深頸部感染症は耳鼻咽喉科領域の感染症の中でも重篤な疾患であり、急速に膿瘍が拡大し降下性壊死性縦隔炎や敗血症など致死的な合併症を来すことがあるため、救命を最優先した適切な初期対応を要する。手術による切開排膿や壊死組織の除去と共に、気管切開を要する症例も多く、組織の損傷が大きい場合には、術後に重度の嚥下障害を発症したという報告も散見する。 今回の後ろ向き研究によって、深頸部膿瘍の治療過程において、どのような因子が嚥下障害の重症度や遷延に関与するのかを明らかにし、今後の患者への説明、医療側の看護、対策、リハビリテーションについて検討することができる。
方法 1995 年～2014 年に、東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科において入院し外科的治療がなされた深頸部膿瘍症例が対象。 リストアップした症例をカルテベースで以下の項目のデータ収集を行う。 ・入院日から全量経口摂取可能あるいは経口摂取開始までの時期をアウトカムとする。 ・性別、年齢、糖尿病の有無、膿瘍の進展範囲、病因、培養結果、手術時間、術後経口挿管の有無または期間、気管切開の有無などの因子についてロジステック回帰分析を行う。
問い合わせ・苦情等の窓口 〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1 東北大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科 Tel: 022-717-7304 Fax: 022-717-7307 責任者：香取幸夫（教授） 担当者：渡邊健一（講師）